

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 鞘ヶ谷 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

質問紙の結果を見ると、運動に対して男子よりも女子の方が関心が低く、また苦手な意識が大きいようです。しかし、体育の授業以外で運動する時間は、ほぼ全国平均と同じくらいですので、苦手だと言っても運動を避けているようではありません。また、運動や食事、睡眠が健康づくりに大切だと考えている児童は100%でしたので、これからも大切にしてほしいと思います。また、体育の授業で学んだことを授業以外で行ってみたいと思っている児童が特に男子の割合が全国平均に比べてかなり高く、授業でしっかりと学んだ成果だと考えています。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

今回の調査結果では、全体の合計点、また半分以上の種目で男女ともに全国平均を上回る結果を残しています。特に今年度は、正確に児童の体力を測定できるように職員が十分に研修を積んで取り組みました。また、子ども達の見える場所に自分たちの学年ならばどれくらいの記録が出せるのかを掲示し、児童に目標を与えたことも結果につながっています。この結果をさらに伸ばせるよう、日々の授業で目標をしっかりと定めて体力の向上を目指していきたいと考えています。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

体力向上のために本校では「さやっ子タイム」という時間を中休みや昼休みに設け、なわとび集会の前にはなわとびの練習時間を、マラソン大会の前には運動場を目標を決めて何周かする運動の時間を確保しています。特になわとび集会のときは、縦割りの学年での挑戦となりますので6年生がリードをして低学年の児童を指導したり励ましたりする光景が良くみられます。